

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

12月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「ツグミ科 イソヒヨドリ」
留鳥。全長 23cm。オスは青と赤褐色のコントラストが美しい。ビジターセンター周辺でもよく見かける。



「ツグミ科 ジョウビタキ」
冬鳥。全長 14cm。背中の中の白い斑点が特徴的な冬の風物詩。「ヒッヒッ」とさかんに縄張り宣言の声を出す。



「キンカメムシ科 オオキンカメムシ」
体長 20-25mm。集団越冬することで知られる南方系の大型カメムシ。大きめの葉の裏を覗いてみよう。



「ミカン科 ナツミカン」
明治時代に山口県で普及し全国に広まった。5月に花が咲き、翌年の初夏に熟す。別名ナツダイダイ。



「クスノキ科 シロダモ」
雌雄異株の常緑高木。花期は秋で、果実は翌年の秋に実るため同時期に花と果実を観察することができる。



★「モッコク科 ヒサカキ」★
生育環境をあまり選ばない常緑小高木。直径 4-5mm の黒紫色の果実を枝にたくさん付ける。



★「センリョウ科 センリョウ」★
暖地の林内に生える常緑小低木。実は葉の上につき、美しさや名前のおかげでたさから縁起物に使われる。



「タデ科 ツルソバ」
暖地の海岸近くに生えるつる性の多年草。花や葉、実がソバ（蕎麦）に似ていることからその名がついた。



「ヒガンバナ科 スイセン」
主な原産地は地中海沿岸。球根で増える多年草。暖地の海岸近くで野生化し群生している。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできますよ♪
自・・・自然観察の森、 駒・・・駒が崎で観察することができます。

早いもので今年最後の月、師走となりました。
何かと気ぜわしい時期ですが、冬支度を始めた動植物に会いに来ませんか。
皆さまのお越しを職員一同お待ちしております(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2020年12月前半号
宇久井ビジターセンター



